

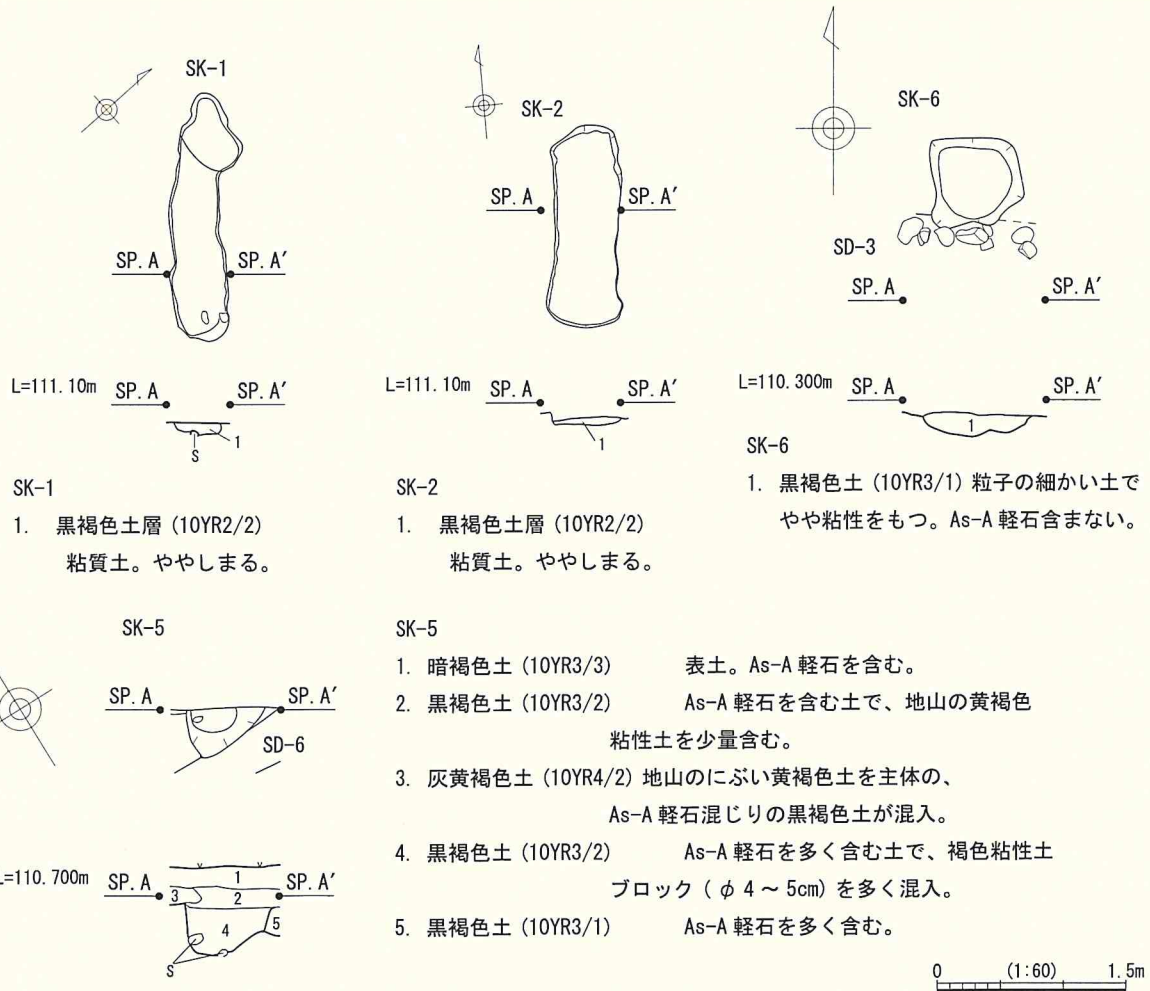
第7節 遺構と遺物

(1) 土坑跡

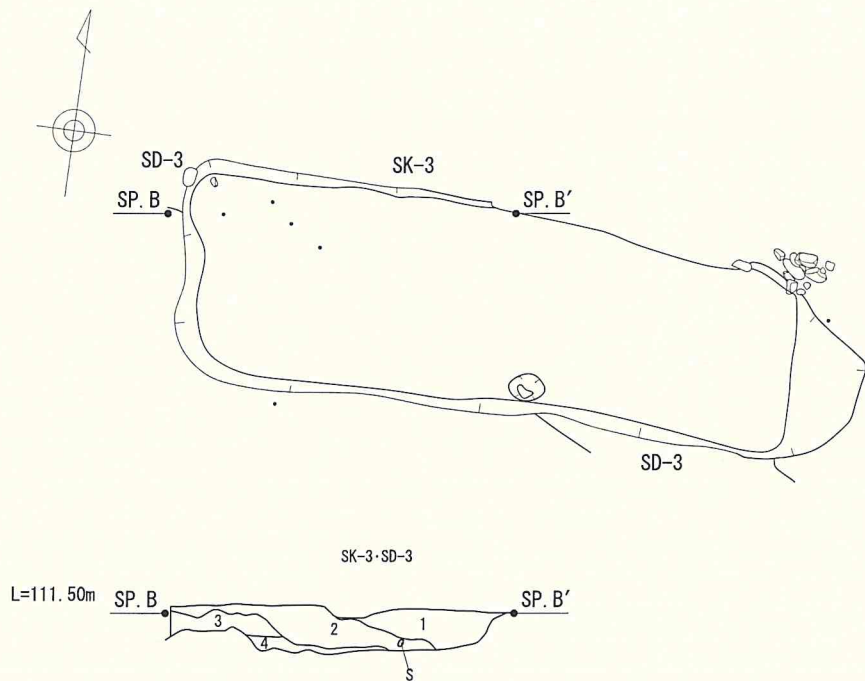
土坑跡は、8基確認した。1・2号土坑は検出・覆土の状態から古代と考えられる。3～5・7・8号土坑は検出状況・遺物から近世と考えられる。4号土坑から陶器壺、8号土坑から内耳鍋・礪臼が出土している。以下、表2で一覧する。(第4～7・10・11図 PL. 1～3・7)

第2表 土坑跡計測一覧表

SK 1	確認長 (m)	1.9	幅 (m)	0.9	深さ (m)	0.1	重複関係	
	所見							
SK 2	確認長 (m)	1.6	幅 (m)	1.1	深さ (m)	0.1	重複関係	
	所見							
SK 3	確認長 (m)	5.2	幅 (m)	1.1	深さ (m)	0.3	重複関係	SD3 → SK3 と新しい
	所見							
SK 4	確認長 (m)	0.8	幅 (m)	0.7	深さ (m)	—	重複関係	SK8 → SK4 と新しい
	所見							
SK 5	確認長 (m)	0.7	幅 (m)	0.4	深さ (m)	0.4	重複関係	SD6 → SK5 と新しい
	所見							
SK 6	確認長 (m)	0.8	幅 (m)	0.7	深さ (m)	0.2	重複関係	SD3 → SK6 と新しい
	所見							
SK 7	確認長 (m)	0.7	幅 (m)	0.4	深さ (m)	—	重複関係	SD5 → SK7 と新しい
	所見							
SK 8	確認長 (m)	1.9	幅 (m)	1.2	深さ (m)	0.8	重複関係	SK8 → SK4・7 と新しい
	所見	底部は拳大の礫で充填されている。						



第5図 土坑跡 平・断面図 (1)

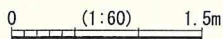
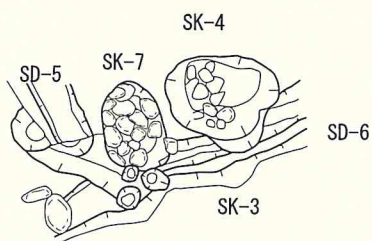


SK-3

1. 黒褐色土層 (10YR3/2) 粘性なし。As-A 軽石を多く含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3) やや粘性あり。As-A を含み、にぶい黄褐色土をブロック状に含む。

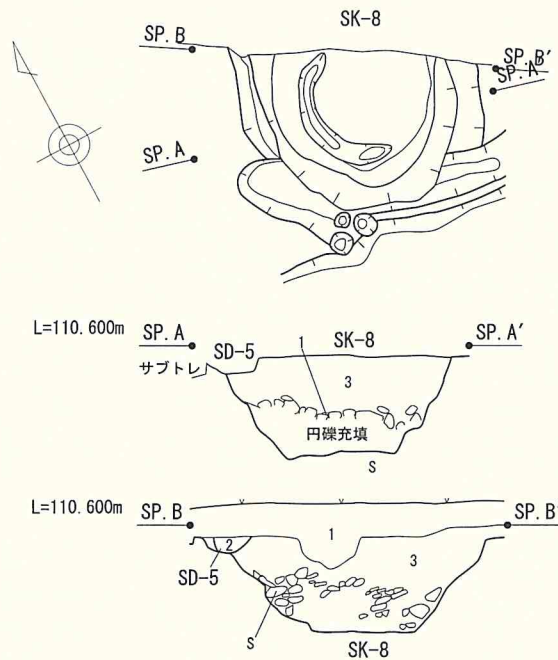
SD-3

3. 黒褐色土層 (10YR3/2) 1層に類似し、As-A 軽石を1層より多く含む。
4. 褐灰色砂層 (10YR4/1) As-A を含む砂層。



SK-8

1. 暗褐色土 (10YR3/3) 表土。As-A 軽石を全体的に含む。
2. 暗褐色土 (10YR3/3) As-A 軽石・にぶい黄褐色土ブロック (φ 1 ~ 2cm) を含む。
3. 暗褐色土 (10YR3/4) やや粘性のある土で、地山のにぶい黄褐色土や褐色土が斑に混じる土。(SD-5) にぶい黄褐色土ブロック (φ 1 ~ 2cm 程) 混じる。As-A 軽石は全く含まない。



第6図 土坑跡 平・断面図 (2)

第4表 土坑跡 出土遺物 観察表(2)

番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
5	第7図 PL. 7	C区 8号土坑	土製品 内耳鍋	①(30.8)②5.6 ③(28.0)	口~底 1/2	①片岩細粒・黒粒・金雲母②酸化 ③黒褐色④内外オサエ後ヨコナデ	
6	第7図 PL. 7	C区 8号土坑	石製品 石皿	①9.1②7.9③5.7	1/2	④砂岩	縄文か
7	第7図 PL. 7	C区 8号土坑	石製品 礪臼	①(30.0)②8.1	1/4	④砂岩 軸受け穴径(3.5) 供給口径(3.1)重さ4.9kg	上白
8	第7図 PL. 7	C区 8号土坑	石製品 石棒	①29.8②5.8③2.8	完形	④緑色片岩 重さ0.74kg	

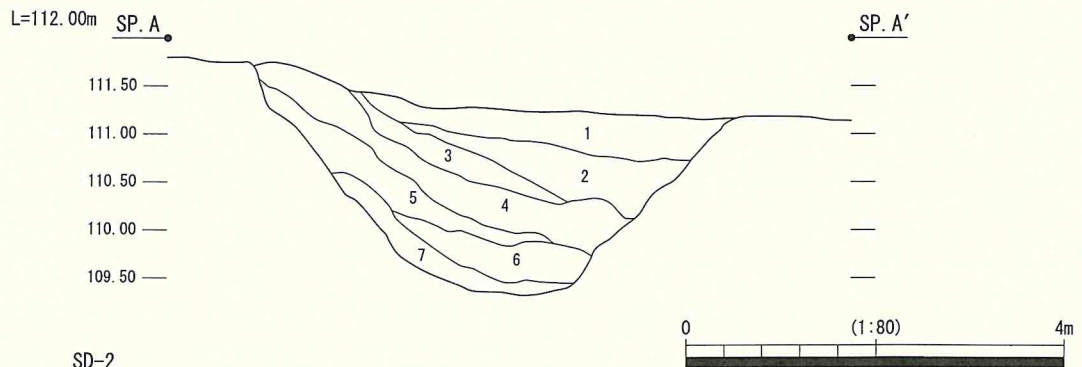
(2) 溝跡

溝跡は、6条検出した。このうち、1・2号溝は中世の掘削と考えられ、1号溝は北東部でL字に曲がり2号溝に続く、3~6号溝は、覆土の状況から近世の掘削と考えられる。今回検出した溝跡は使用時期の違いはあれ、上池館に伴う遺構と考えられる。以下、表5で一覧する。

(第4・8~13図 PL. 3~8)

第5表 溝跡計測一覧報

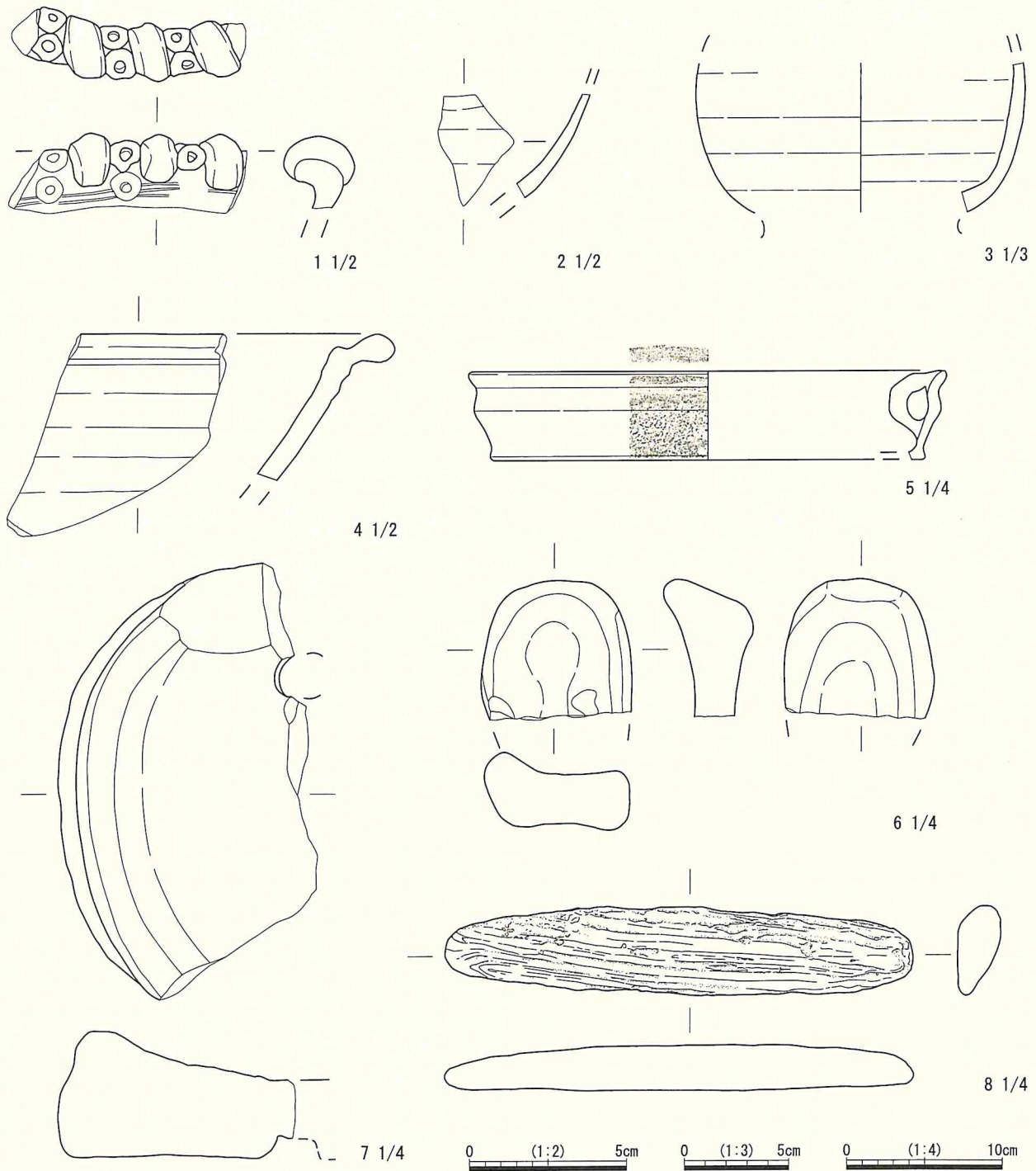
SD	確認長(m)	幅(m)	深さ(m)	重複関係	備考
SD 1	8.0	8.4	1.7		
	所見	中世の堀 断面逆台形 SD2に続く。			
SD 2	40.0	4.8	2.3		
	所見	中世の堀 断面逆台形			
SD 3	12.0	0.4~1.0	0.3		SD3 → SK3 と新しい
	所見	断面U字形。			
SD 4	1.4	0.4	0.2		SD3 → SD4 と新しい
	所見	断面U字形。			
SD 5	2.4	0.2	0.2		SD5 → SK7 と新しい
	所見	断面U字形。			
SD 6	2.6	0.24	0.2		SD6 → SK7 → SK8 と新しい
	所見	断面U字形 調査区外でSD4に続くと考えられる。			



SD-2

1. 黒褐色土層(10YR3/2) 表土。As-A 軽石、φ5~10cm程の礫を多く含む。やや硬質。
2. 暗赤灰色土層(2.5YR3/1) As-A 軽石純層。
3. 暗褐色土層(10YR3/3) 暗褐色粘質土主体の層。φ2~3cm程の礫を多く含み、φ10cm程の礫を少量含む。やや硬質。
4. 礫層 下部中央にφ20cm大の河原石を主体、上部にφ1~10cm大の礫を主体に含む。
5. 黒褐色土層(10YR2/2) 黒褐色粘質土主体、下部中央にφ1~5cm大の礫を多く含む。やや硬質。
6. 礫層 φ10~30cm大の河原石を主体、礫を多く含み、鉄分をやや多く含む。
7. 黒褐色土層(10YR2/2) 黒褐色粘質土。φ10~20cm程の礫をやや多く含む。
8. 地山由来の砂質土、鉄分を多く含む。軟質。

第8図 溝跡 断面図(1)



第7図 3・4・7・8号土坑 遺物実測図

第3表 土坑跡 出土遺物 観察表(1)

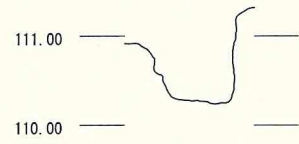
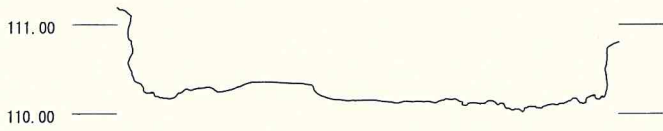
番号	図版番号	出土位置	種別 種類	①口径(長さ)②器高(幅) ③底径(厚さ)*単位 cm	残存状態	①胎土②焼成③色調 ④整形・調整の特徴等⑤その他	備考
1	第7図 PL. 7	C区 3号土坑	縄文 深鉢	②2.8	小片	①石英・黒色粒・雲母②酸化③ 褐色	諸磯C
2	第7図 PL. 7	C区 3号土坑	灰釉陶器 壺	②3.5	小片	①黒色微細粒②還元③灰色④ロ クロ調整・施釉	
3	第7図 PL. 7	C区 4号土坑	陶器 壺	②7.2	胴部 1/4	①金雲母微細粒・黒色微細粒② 還元③黒褐色④ロクロ成形・施釉	
4	第7図 PL. 7	C区 7号土坑	陶器 鉢	①(38.6)②4.7	口縁部 1/10	①金雲母微細粒・黒色微細粒② 還元③灰～灰褐色④ロクロ成形 ・施釉	

L=112.00m EP. A.

EP. A'

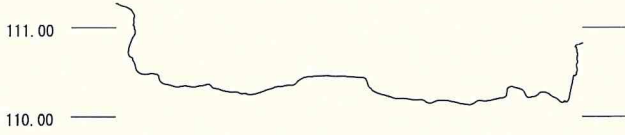
L=112.00m EP. G.

EP. G'



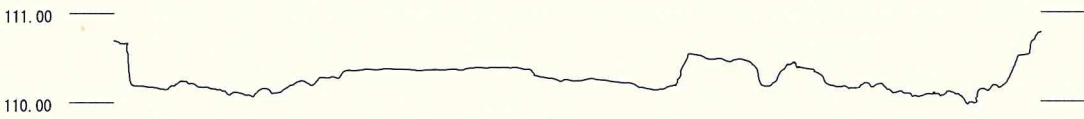
L=112.00m EP. B.

EP. B'



L=112.00m EP. C.

EP. C'

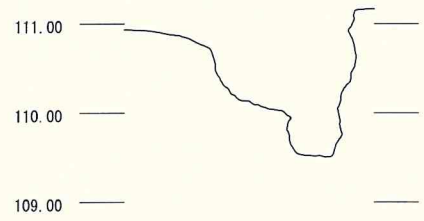
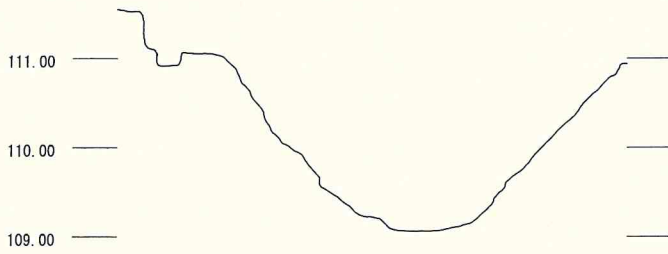


L=112.00m EP. D.

EP. D'

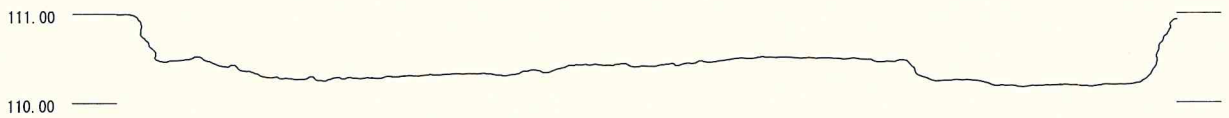
L=112.00m EP. E.

EP. E'



L=112.00m EP. H.

EP. H'



L=112.00m EP. J.

EP. J'

